

図書館だより

No.65

2015.12

選書ツアーに行ってきました！

現代教養学科 松浦 照子教授

現代教養学科1年ゼミはいろんなプロジェクトに取り組んでいる。学科行事を企画するプロジェクトが多い。そんな中、4月早々松浦ゼミは「読書文化を盛んにするプロジェクト」を担当することになった。ゼミ教員としては難儀なプロジェクトを押し付けられたものだとため息をついた。活字離れは、現代の若者共通の傾向だとして大人たちから嘆かれていることだ。

そんな先入観があったのだが、学期の初めに学生たちに「読書」についてイメージを膨らませてもらったところ、必ずしも悪くない、そんな手ごたえを感じた。しかし、いきなり本を与えても面白くないだろう、ならば、本屋さんに行ってみよう、というのが事の発端だ。学生たちも本屋さんには結構行くという。そして4店の本屋さん取材に行くことにした。そうしたら、さっそく断られた。忙しいからそんな取材には応じられないというのだ。せっかく思いついたのに、暗礁に乗り上げた。

ここからが偶然の出会いである。研究室に丸善の外商のSさんが訪れた。丸善では「選書ツアー」というのに力を入れているということだ。それにゼミとして参加することはできないか、ということで段取りをして実現したのが今回の選書ツアーなのである。10人の学生たちは、大きな都会の本屋にまず目を丸くし、限られた予算の中で精いっぱい選書を楽しんだ。そして、そのほとんどを図書館で購入してくださることになった。

そんな経緯があって何冊かの図書が図書館の蔵書となった。1階の入り口すぐのところにゼミ生たちのおすすめの本が飾られたコーナーも作っていただいた。ぜひ皆さんにも立ち寄っていただきたいコーナーである。

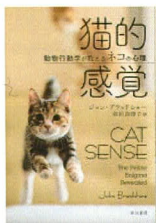


学生お薦めの本

『猫的感觉 動物行動学が教えるネコの心理』

ジョン・ブラッドショー 著<早川書房>

現代教養学科1年 稲熊 里奈



この本は、猫の心理について興味があったので選んだ。私は、猫を飼っている。「猫にとってのストレス」や「どうしてもつこいねこになるのか」や「猫が飽きないおもちゃ」などの内容で猫の上手な接し方について紹介されており、知らないことが知れて勉強になった。心理だけではなく、猫の歴史や猫から見える世界という内容が興味深かった。猫を飼っている人や、好きな方は読んでみてほしい。

『頂点への道』

錦織圭、秋山英宏 著<文藝春秋>

現代教養学科1年 松浦 千也



私が、この『頂点への道』という本を読もうと思った理由は今の錦織選手になるまでにどのような経緯があったのか知りたかったからです。

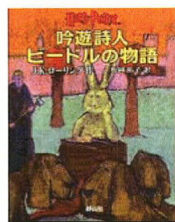
中でも印象的だったのは、13歳の時に単身留学を経験し、18歳で優勝した後に怪我をしてリハビリ生活をしてきたことです。天才だといわれている錦織選手でも様々な葛藤と戦ってきたのだと思っし、それを乗り越えて世界ランキング4位まで上り詰めるなんて、やはり世界で戦う人はすごい精神力だと感じました。

それに加え、この本は元々ブログを書き集めたものなのですがあまりネガティブな事は書かれておらず、むしろポジティブな言葉の方が多く書かれていて、テニスプレイヤーとしても人としても尊敬できる人だと思いました。

『吟遊詩人ビートルの物語』

J. K. ローリング 作<静山社>

現代教養学科1年 中島 晴香



私がおすすめしたい本は『吟遊詩人ビートルの物語』です。この作品はハリーポッターと死の秘宝でダンブルドア校長がハーマイオニーに遺贈した物語です。この物語は5つのお話が入っていて、私が特に印象に残っているのは「三人兄弟の物語」というお話です。3人の兄弟が危険な川に橋を架けて渡ろうとすると突然「死」が現れる、という場面から物語が始まります。少し怖いですが、ただの物語ではなく、生きていく上で大切なことを教えてくれます。他の物語も面白いし、ためになるものばかりなので皆さんもぜひ読んでみてください。

諸事情により、不掲載とさせていただきます。

Library News

図書館利用について

オンラインデータベースを活用しよう！

雑誌・論文情報 **magazineplus**

「magazineplus」は一般誌から専門誌、大学紀要、海外誌紙まで収録した日本最大規模の雑誌記事(書誌)データベースです。国立国会図書館(NDL)の「雑誌記事索引」を収録するほか、「雑誌記事索引」ではカバーしきれない学会年報・論文集や一般誌、地方誌などを追加しました。

〈使用上の注意〉

- 学内LANに接続されたPCから利用できます(学内の方に限ります)。
- 注意 **アクセス1台限定**ですので同時に複数の人が利用することができません。接続できない場合はしばらくしてから再度ログインしてください。検索が終了したら、**必ず右上の「LOGOUT」**ボタンを押してください。「LOGOUT」ボタンを押さないでブラウザを終了したり、ブラウザのウィンドウを閉じたりした場合、一定の時間経過しなければ再度、本データベースを利用することができません。
- キーワード、掲載雑誌名、著者名、刊行年月から検索できます。

magazineplusを構成するコンテンツ

国立国会図書館・雑誌記事索引 (収録年:1948-)	学会年報・研究報告論文総覧 (収録年:1945-2014)	シンクタンク (収録年:2000-)	現代詩誌総覧 (収録年:1921-1946)
地方史文献年鑑 (収録年:1997-2012)	論文集内容細目総覧 (収録年:1945-2008)	文芸雑誌小説初出総覧 (収録年:1945-2005)	戦後詩誌総覧 (収録年:1945-1975)
東洋経済 (収録年:1997-)	歴史学紀要論文総覧 (収録年:1920-2006)	文芸雑誌内容細目総覧 戦後リトルマガジン篇 (収録年:1945-1979)	食文化・味覚雑誌目次総覧 (収録年:1946-1987)
KSK(海外産業・企業誌紙) (収録年:1985-2005.3)	一般誌・総合誌・ビジネス誌 (収録年:2003.4-)	大東亜戦争書誌 (収録年:1937-1944)	
JOINT(国内経済専門・業界誌) (収録年:1981-1995)	ジャーナルインデックス (収録年:1981-2003.3)	探偵雑誌目次総覧 (収録年:1922-1964)	

※その他図書館では様々なオンラインデータベースを提供しています。詳しくは図書館HPをご覧ください。

Library Q&A(コピー機の使用と著作権)

Q

図書館のコピー機で資料を複写する場合、なぜ複写申込書を記入しなければならないのですか？

A

図書館資料を複写する場合は、「著作権法」に従わなければなりません。著作権法遵守に関する誓約書を兼ねた複写申込書に必要事項を記入し、その複写が著作権法

第31条の権利条件を満たしていることを図書館職員が確認する必要があるため、複写申込書の記入が必要になります。権利条件とは以下のとおりです。

1. 著作物は全部ではなく一部分(半分以下)であること
2. 定期刊行物に掲載された各論文その他の記事はその全部であるが、発行後相当の期間を経たもの(次号が既刊となったもの、または発行後3ヶ月を経たもの等)に限ること
3. コピー部数は一人について一部のみであること
4. 利用者の調査研究のためであること
5. 有償無償問わず、再複写したり頒布したりしないこと



また、図書館のコピー機は図書館内の資料以外の複写はできませんのでご注意ください。